

戦後多くの人口をかかえ、限られた狭い国土にあつて北海道は、この国に残された唯一つの未開発地として大きくクローズアップされなかでも苫小牧は、工業港を中心とする臨海工業地帯の造成へと、各界の注目を浴びて建設の槌をおろした。そうして、

今年は、オニ二五九年計画の二年目に当り、石炭積出港としての苫小牧港築設が



新築された
公営住宅等

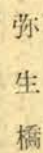
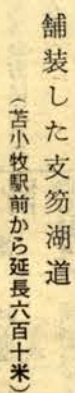
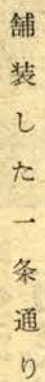
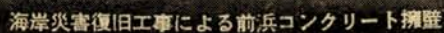
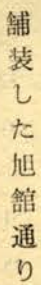
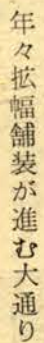
苦

小牧市役所

賀春

昭和三十三年元旦

市役所	市長田中正太郎	助役大野泉五郎	収入役荻野大五郎	總務部長新岡正敏	工管部長秋田繁帶	財務課長山下元治	稅務課長山田正三	保健課長勝保武一郎	商工水產課長伊藤藤一	農林課長柏木三治	交通課長兼高野利雄	土木課長兼後藤弘義	都市計畫課長吉篤男	建築課長森岡一男	水道課長荒川忠夫	福祉事務所長金室次長勇出張所長	小牧市議會	議長渡邊廣司	副議長藤原博彌	總務委員長佐々木瞭	文教科員長遠山五十雄	產業經濟委員長市岡吉二	副委員長本間正都	施設工管委員長松原敏光	工場誘致特別委員長塚田鐵夫	港灣促進特別委員相村重信	副委員長中武吉治	總務委員中村隆平	文教厚生委員須佐惣太	産業經濟委員田坂永吉	建設工管委員丹羽秀雄	鳥越兼次	五島十嵐善吾	施設工管委員菊地善吾
-----	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	------------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	-----------------	-------	--------	---------	-----------	------------	-------------	----------	-------------	---------------	--------------	----------	----------	------------	------------	------------	------	--------	------------



ならないことが、ひとりで実施
機関ばかりでなく産業界の
気運としても漸くたかまつ
て来た。
こうした発展への輝かしい
希望のうちに、市になつて
十回目の新春を迎えた。
ここに昭和三十三年の建設
工事の跡をたどり、この年
もまた、苫小牧市の発展躍
進のため努力しなければな
らない。

立
自
動
車
學
校

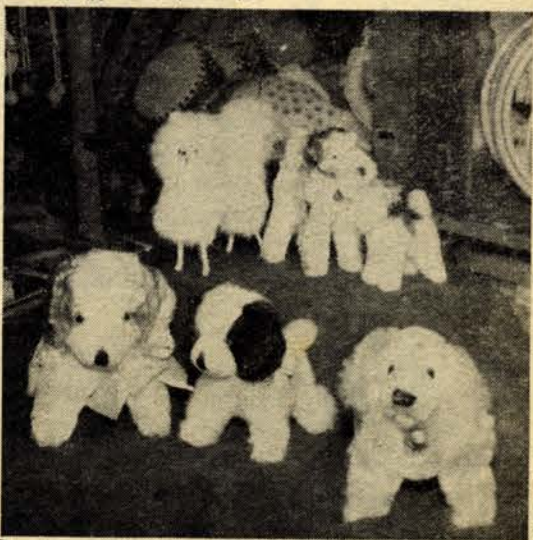
△前年対比 200人以上増の地域

地 域 別	世帯数	常住人口	地 域 別	世帯数	常住人口
樽 前	141	793	弥 生 町	19	97
錦 岡	260	1,368	白 金 町	13	60
系 井	104	582	矢 代 町	189	801
丸 山	47	201	元 町	361	1,609
植 苗	150	779	△浜 町	486	2,084
柏 原	72	385	幸 町	384	1,691
静 川	27	110	本 町	364	1,648
弁 天	90	525	大 町	514	2,423
勇払市街	388	1,746	錦 町	358	1,832
国策社宅	515	2,622	栄 町	559	2,341
沼 の 端	169	815	旭 町	721	3,161
東京開拓	21	102	東 町	127	653
高 丘	68	291	表 町	318	1,623
中 野	126	600	王 子 町	108	559
緑 町	987	4,274	王子山手区	510	2,825
木 場 町	329	1,508	王 子 西 部	482	2,781
山 手 町	222	1,074	王 子 中 部	487	2,414
西 町	444	1,883	王 子 東 部	772	4,175
西弥生町	325	1,582	計	11,257	54,017

第三次産業（卸小売・金融・サービス業等）人口伸びる

(イ)昭和三十一年市勢調査
 〓三カ月以上当市に滞在し、または滞在予定の者
 (ロ)昭和三十二年常住人口調査
 〓当市に生活の本拠をもつている者(出かせぎ等の一時滞在者はたとえ三カ月以上滞在している者でも除外)

②調査対象を前年と同一にした場合の推定人口
 ①の(イ)に準じ(ロ)が行われたと仮定すれば、昭和三十三年の調査人口は五六二六七人と推定され、前年対比三、三四一人の増加となる。



こども

お正月の遊び

よい友達となつて遊びそ
て笑いましよう。きつと、
子供たちに対する何よりの
心のプレゼントです。
つぎにかんたんな室内遊び
をいくつかあげてみました
ふだん子供たちのしてい
遊びでも、大人も子供もい
つしよにするとともに、面
白みがいつそうでてくるも
のです。みんなで、いろい
ろ工夫してみましよう。

豆リレー
(用意するもの) 皿……四枚
丸いハシ……四本、豆……二
十個

かきまします。
さて、向い合つた二人は
しんばんの「試合始め」
の合図で、真中においた
ピンボン玉を口でふいて
相手の陣地にはやくいれ
るのです。テーブルのそ
とに落ちたときは、真中
にピンボン玉をおきなお
してやりなします。
お互いに一生けん命口を
とがらせてふくので、顔
をみているだけでも面白
いです。
勝つた人が残つてつぎの
人とやります。

動物とか、部屋の中にあるものとかをする前にきめておくのと面白いです。

ローソク消し

五メートル位さきの机の上に、一本のローソクを立てて火をつけておきます。一人づつ、順番にやります。

まず、目かくしをして、静かにローソクの方へ進み、ちよūdよいと思うところでフット火を消します。これは一度ふけるだけです。

よく消す人や、とんでもなく消す人など、

さから知らず知らずのうちに大きな動作が生まれます。その大きな動作は出演している人のくせや特ちょうを拡大するのと思わす大わらいです。カメラになつた子供は首をひつこめて手足をばたばたさせたりしてね。

これは物語でなくてもできます。紅白に分れて紅組が猿の名を相手の一名の者に与えると手まね、足まねで猿の表現を争うわけです。それを見て白組の者があつてゐるわけだ

ローソク消し

五メートル位さきの机の上に、一本のローソクを立てて火をつけておきます。一人づつ、順番にやります。

まず、目かくしをして、静かにローソクの方へ進み、ちようどよいと思うところでフット火を消します。これは一度ふけるだけです。